

### 3 指導案2

「幼児と遊ぼう」(10/12時間)

[目標]

- ・幼児との触れ合い活動に意欲的に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- ・幼児の成長における家族の役割について理解することができる。(知識・理解)

学習内容	学習活動	教師の支援	評価と方法
導入 5分	1 本時の学習目標を知る。 ・幼児と触れ合い、発達の特徴を見付けよう ・幼児の成長と家族の役割について考えよう  2 自分の活動目標を確認する。  3 実習の注意事項を確認する。	・積極的に幼児とかわることができるよう、かわる際の観点を確認させる。(運動機能、ことば、人とのかわり方) ・幼児と遊ぶときの注意を思い出させ、安全に留意して取り組ませる。	・幼児と安全に触れ合う方法を考えることができたか。 (発表)
展開 ① 18分	4 幼児と触れ合いながら、 発達の特徴をつかむ。 Aグループ ・身体の発達 ・運動機能の発達 ・ことばの発達 ・社会性の発達 Bグループ 展開②に取り組む。	・展開①から取りませせるA班と展開②から取りませせるB班に分け、途中で交代させる。 ・幼児が安心して活動できるように、常に母親の姿が見えるように注意させる。 ・幼児にストレスを与えないようにことば遣いや行動に配慮させる。 ・観察だけににならないように、幼児とうまくかわり合えない生徒に具体的な指示を出す。	・関心をもって積極的にかわろうとしているか。 (観察)
展開 ② 18分	5 幼児の母親から子育てについて話を聞く。 Aグループ ・子育ての喜びや苦労 ・子供への願い ・家庭における子供の存在 ・父親や家族と幼児のかわり Bグループ 展開①に取り組む。	・展開①と②を交代させる。 ・母親への質問が円滑に進むように、司会者を決めておく。 ・事前に母親へ質問内容を伝え、考えておいてもらう。	・関心をもって積極的に話を聞くことができたか。 (観察)
まとめ 9分	6 実習を通して気付いたこと、分かったことをまとめ、発表する。	・幼児と家族のかわりについて気付いたことを発表させ、次時の幼児にとっての家族の役割を考える授業へつなげる。	・学習目標に沿って気付いたことや分かったことをまとめることができたか。 (ワークシート)

[評価]

- ・手づくりのおもちゃを使って、積極的に幼児とかわることができたか。(観察)
- ・母親の話から家庭の役割や幼児に対する家族の思いを理解することができたか。(ワークシート)

[参考]

〈ゲストティーチャー〉

母親 5名

幼児 10名 { 10か月男児, 10か月女児, 1歳女児, 2歳女児(2名), 3歳女児(2名), 4歳男児, 5歳男児, 5歳女児 }

〈幼児を中学校へ迎えるために準備したもの〉

- ・お昼寝マット, 幼児用のトイレスリッパ, 生徒用名前シール(ひらがなで名前を書いたもの), ごみ袋, おもちゃ(新聞, 段ボール箱, 紙, ペン, ボール, 積み木, ブロック)

〈お母さんとの打合せ等〉)

- 1回目…知り合いの母親に授業の趣旨を説明し、他にも協力してくださる方を探していただくように依頼する。
- 2回目…参加者の母親に授業の趣旨を説明する。学校で必要なもの、中学生に気を付けてほしいことを伺う。
- 3回目…事前に生徒が質問する内容を手紙で伝える。
- 4回目…授業後、感想とお礼の手紙を送る。